

(19)【発行国】日本国特許庁(JP)

(45)【発行日】平成21年1月13日(2009. 1. 13)

(12)【公報種別】意匠公報(S)

(11)【登録番号】意匠登録第1348261号(D1348261)

(24)【登録日】平成20年12月5日(2008. 12. 5)

(54)【意匠に係る物品】理髪用梳鋏

【部分意匠】

(52)【意匠分類】K1-132

(51)【国際意匠分類(参考)】08-03、28-03

【Dターム】K1-132B

(21)【出願番号】意願2007-22679(D2007-22679)

(22)【出願日】平成19年8月22日(2007. 8. 22)

【審査番号】不服2008-6667(D2008-6667/J1)

【審査請求日】平成20年3月18日(2008. 3. 18)

(72)【創作者】

【氏名】坂井 裕一

【住所又は居所】新潟県三条市東本成寺19-11-3

(73)【意匠権者】

【識別番号】593207282

【氏名又は名称】坂井 裕一

【住所又は居所】新潟県三条市東本成寺19-11-3

(74)【代理人】

【識別番号】100075144

【弁理士】

【氏名又は名称】井ノ口 壽

【審査長】【特許庁審査官】関口 剛

【特許庁審査官】岩井 芳紀

【特許庁審査官】宮田 莊平

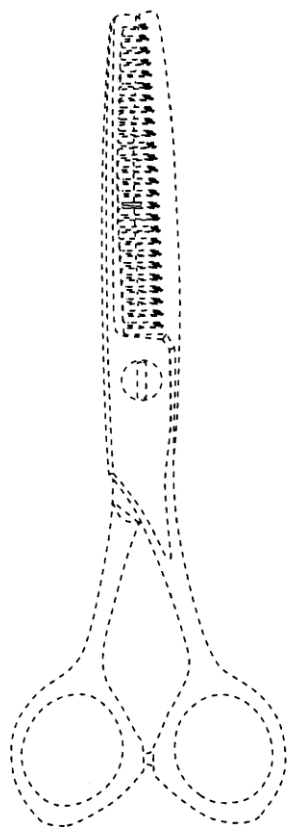
(56)【参考文献】意登1192500

(55)【意匠に係る物品の説明】本願意匠に係る理髪用梳鋏の櫛刃の要素の面は5面であり、B-C部分正面図の左右の一点鎖線と上側の直線と中央の曲線で囲まれる面と、左右の一点鎖線と中央の曲線と下側の直線で囲まれる部分は、それぞれ2次曲面であり、異なる反射面を形成している。

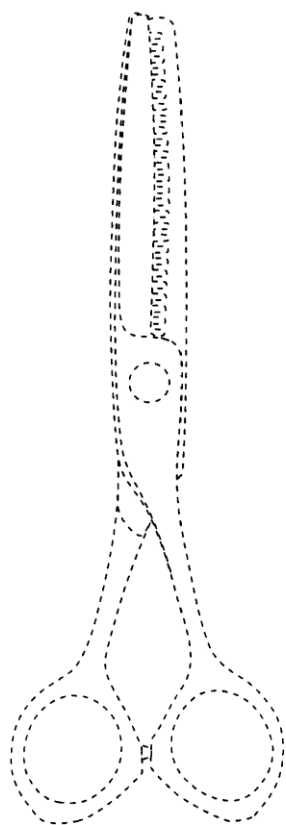
(55)【意匠の説明】実線で表された部分が、部分意匠として意匠登録を受けようとする部分である。一点鎖線は、部分意匠として意匠登録を受けようとする部分とその他の部分との境界のみを示す線である。A-A部分拡大図およびB-C部分6面図を含めて部分意匠として意匠登録を受けようとする部分を特定している。

【図面】

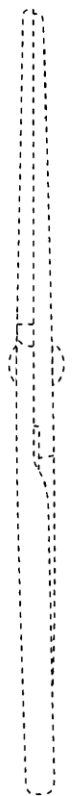
【正面図】



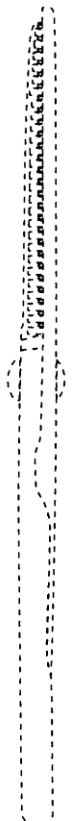
【背面図】



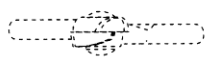
【左側面図】



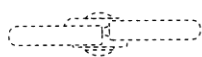
【右側面図】



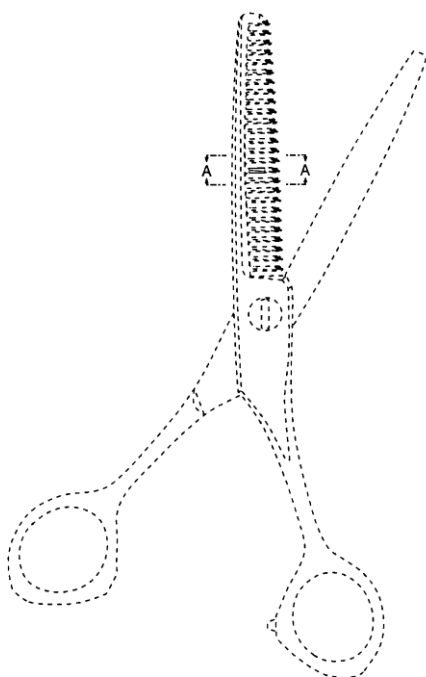
【平面図】



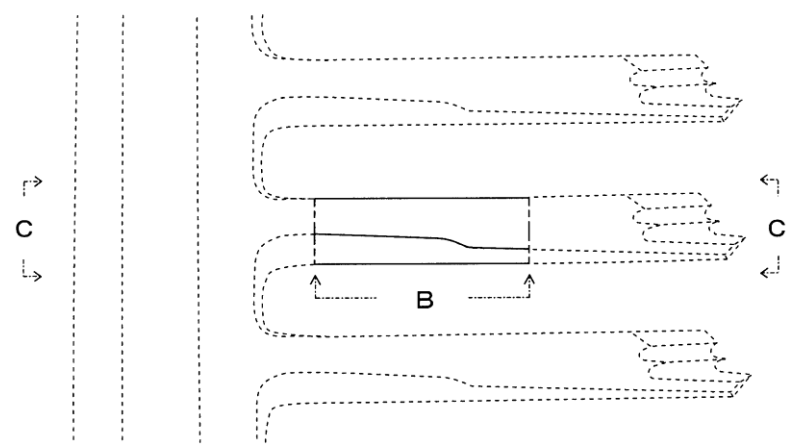
【底面図】



【開いた状態の正面図】



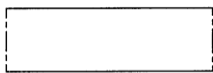
【A－A部分拡大図】



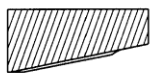
【B－C部分正面図】



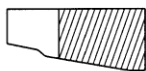
【B－C部分背面図】



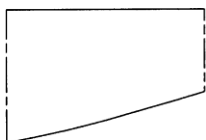
【B－C部分左側面図】



【B－C部分右側面図】



【B－C部分平面図】



【B－C部分底面図】

